

## 「首都高速道路大橋ジャンクション」現場見学会

報告者：施工技術部会 小松

日 時 : 平成 25 年 2 月 15 日 ( 金 ) 15 : 00 ~ 16 : 30  
場 所 : 東京都目黒区大橋地内 大橋ジャンクション  
講 師 : 東京農業大学 近藤三雄 教授  
首都高東京建設局大橋建設事務所 須藤肇氏  
有限会社アースグリーン 佐藤健二氏

参加者数 : 20 名

内 容

### 1. 概要

首都高中央環状線の大橋ジャンクションは 1 周約 400m のループ状のジャンクションで自動車の排気ガスや騒音を低減するためにコンクリートで壁・屋根を覆う立体構造になっている。現在この世界的にも注目を集める土木構造物の屋上で約 7,000 m<sup>2</sup> の緑地「目黒天空庭園」の整備が進められている。今回はこの工事に企画段階から携わっておられる近藤三雄氏を講師として、現地をまわりながら庭園のコンセプトを解説していただくとともに、工事が今に至るまでの経緯等もお伺いすることができた。

公園の建設工事は目黒区が首都高に委託。



工事が進むジャンクション内広場



壁面緑化について解説する近藤教授



首都高工事事務所 須藤氏 ( 右 )  
アースグリーン 佐藤氏 ( 中央 )

### 2. デザインコンセプト

世界的に注目されている大橋ジャンクションから、日本の文化や環境技術を発信すべく和風モダンな回遊式日本庭園が当初から構想され、仕立ての樹木や信楽焼の陶製品を中心に日本の風情が感じられる庭を目指したということであった。実施設計においては、東京都、首都高速道路、目黒区、周辺市民等のさまざまな関係者がいる中で、デザインコンセプトを現場に反映していくことの難しさが伺い知れた。



換気所屋上エリア おおし里の社



東屋前 日本庭園



遮音壁脇の庭園デザイン

### 3. 施工技術と材料の解説

屋上の耐荷重は2 t / m<sup>2</sup>あり、植栽基盤には黒土と黒曜石系パーライト(30%)を使用している。約5,000m<sup>3</sup>の土はトン袋に入れ、約6,000袋をクレーンで吊って屋上まで搬入。排水対策として園内の21ヶ所に貯水槽を設け、浸透した雨水をためて少しずつ排水できるようにしている。

植栽は五葉松や赤松、黒松などを中心とした仕立ての樹木を各所に配置。これらの樹木はすでに枝の形が整っているため、手入れにかかる経費は少なくて済むということであった。

樹木のプランターや舗装タイル、植栽帯の中のアクセントとして使われているのが信楽焼の陶製品で、青や青緑色の色合いが特徴的である。仕立ての樹木、信楽焼とともに園内で多用されているのが芳香性の低木、グランドカバープランツ、つる植物などであり、香りでも庭園を楽しむように工夫がされている。



植栽基盤の構造モデル



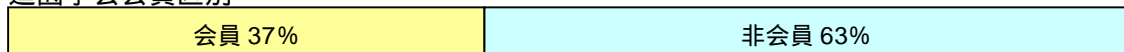
信楽焼のタイル



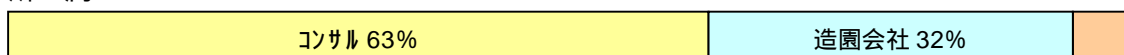
信楽焼の鉢と仕立ての黒松

### 参加者アンケート集計

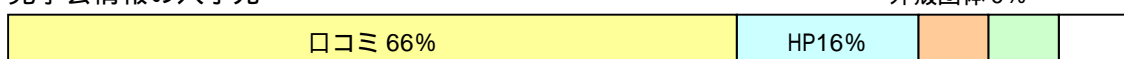
#### 1. 造園学会会員区別



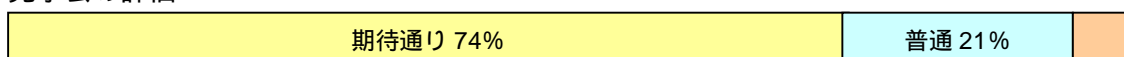
#### 2. 所属



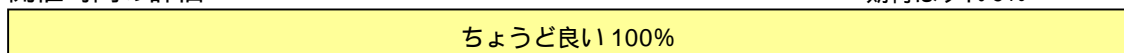
#### 3. 見学会情報の入手先



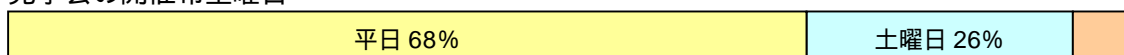
#### 4. 見学会の評価



#### 5. 開催時間の評価



#### 6. 見学会の開催希望曜日



#### 7. 今後期待する行事(複数回答)

